

織物屋がつくる傘・日傘展



【榎田商店概要】

1866年に創業。山梨県にて甲斐絹織物卸業として事業を始める。生地作りにおいて最適な規格製造のノウハウ、様々なデザインからの展開力、また自由な織柄を織る事ができる特殊な織機を保有。傘は、自社職人により作られており、国内では例を見ない、デザイン・生地製造・製品製造の一貫生産をとっている。山梨県郡内織物産地の『歴史・新しい技術・匠の技の融合』により作られている。

www.makita-1866.jp

伝統と革新の職人技で、気持ちと視線を上向きにする 晴れの日も雨の日も 出かけたくなる 榎田商店の傘・日傘

昨年好評をいただきました織物屋・榎田商店の傘・日傘展。

「もったいない」という、世界でも注目されているすばらしい言葉をキーワードに、ただの雨露・日差しをしのぐだけの「モノ」ではなく、日本の風土に根差した文化を大事にした傘を作りたいと考え、ものづくりをしています。

江戸時代から培った織物技術を、1本の傘で表現した傘や、爽やかなストライプ（縞）で表現した新製品のパラソル。

「持っていて楽しくなる傘」
「ちょっと素敵に見える傘」
「大切に使用したくなる傘」
そんな傘を展開していきます。

新製品「stripe」

ブルー&ホワイトを基調にしたストライプ柄を、様々な組み合わせで展開した晴雨兼用パラソルです。爽やかな表情に加え、遮光加工を施しているため、暑い夏の日差しを遮ります。見た目も、機能も涼しく、夏の外出が楽しみになるパラソルの誕生です。

「1866(イチハチロクロク)」

榎田商店のフラッグシップモデル。

創業1866年から培った技術・経験を一つの傘で表現しました。外側は光沢の美しい先染めならではのシャンプレーの傘生地、内側には服生地作りで培った大胆な織柄。蛙張り（かわずばり）という伝統の技法を用い外側と内側の生地を骨を包み込んだ張り方で、傘を開く楽しさを味わう事ができる晴雨兼用傘です。

－開催概要－ 織物屋がつくる傘・日傘展

会 期：2014年6月19日（木）～7月1日（火）
10：30 - 19：00 / 水曜定休 入場無料

会 場：monova gallery
東京都新宿区西新宿3-7-1
リビングデザインセンターOZONE 4階

主 催：株式会社 榎田商店

協 力：Japan creation space monova